

女性チャレンジ応援拠点だより 2021 1月

○●コラム【2021年〈新世界〉の始まり!】●○

2021年が明けました。「コロナ」後の世界的な「新しい常態」が本格的に進みます。〈新世界〉の始まりと言っていいかもしれません。遊ぶ・学ぶ・働くことのほとんどを家でやる人も増えるでしょう。「都市」から「地方」へ移住する人も。

わたしたちをとりまく世界がこれから根本的に変わっていく、そう思うとヤル気が出てきませんか。既存概念にとらわれない発想も許容されやすくなります。チャレンジのし甲斐もあるというものです。葛藤はつきものですが、自分の成長を必ず実感する時がきます。

ということで、2021年正月の「チャレンジが実る流儀〈ケーススタディ〉」は、

～ケース9『自分に〈成長〉をみた瞬間』～

子育てなどで十数年以上も中断していた活動を2019年初に再開したAさん。ただ、長い家庭生活で時代感覚や仕事感覚が鈍ったと感じたそうです。これではダメだと、いろいろ調べ、公的機関の相談窓口を訪ねて定期的なコンサルティングを受けることにしました。『最初は何を言われているのか、ピンときませんでした』といいます。それでも付いていこうと勉強をし、課題をこなし、頑張ったそうです。なぜそうできたかと尋ねると、『熱心に支援してもらって、その厚意に報いなければと…』。

そのうち、支援は終わっても勉強の姿勢は続き、その甲斐あって、『最近、少しわかってきました、何が大事か。そして一つのニュースや情報に接しても、そのまま鵜呑みするのではなく、その背景や真偽のほどを見究めようとする目が出てきました』。そのことに気づいた時、自分自身を少し誇らしく感じられたそうです。「直観」力がついたということだろうと思います。自分で自分の成長を感じる、何と合わせなことでしょ。

個人も組織も社会も、真価が問われる・本領を発揮するのはイレギュラーなことが起こった時です。突発的な出来事からトラブルに発展して、これまで良好な関係を築いてきた相手と軋轢が生じるということはよくあるものです。最近そういった場面を経験したBさん、自分のとった対応に、『自分を褒めてあげたい』と思ったそうです。原因はお互いそれぞれの「~つもり」の違いだったそうですが、先方は当初かなり感情的に迫ってきたそうです。しかし、Bさんは落ち着いて話し、先方の言い分をしっかりと聞き、自分の主張もして、最後は二人のやりとりを見ていた先方のお仲間がBさんに〈軍配〉を上げ、一件落着。最後までちゃんと先方を立て、丁寧にお礼を言って帰ってきたといいます。

その時の自分の様子をふり返り、『よくそうできたことだと、自分で少し感心しました』とBさん。日頃から奉仕精神豊かなBさんならではの、です。

チャレンジは自分自身にとって新しいことに挑むこと。試行錯誤、孤軍奮闘の連続ですが、その先に〈成長〉が待っているのは確かです。2021年の始まり、チャレンジを想い続けているみなさんには、ぜひ一歩ふみだしていただきたいものです。

“でも、何から手をつけていいか…”と迷われたら、「女性チャレンジ応援拠点」があります。予約なしに、ふらっと立ち寄って、いろいろと話せる場所です。新年2021年を「女性チャレンジ応援拠点」から始めませんか。みなさんのご来室をお待ちしております。



女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※開室日 ※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休業

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※開室時間内は自由に入出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

